

学校経営の改革方針

児童・保護者・地域から信頼され、活気ある学校

学校教育目標

自他を尊重し、ともに学び、高め合う子の育成

《目指す子ども像》

- ・ 自ら学び、自分の思いを表現できる子
- ・ 人とのかかわりを通して、思いやりの心をもてる子
- ・ 心身ともにたくましく、主体的に活動する子

《目指す教師像》

- ・ 自己研鑽に努め、学び続ける教師
- ・ 確かな指導力と人間性で子どもの資質・能力の成長を支援する教師

教職員一丸となって取り組む学校づくり

確かな学力を身につけ、自分の思いを表現できる子を育てる学校

自他を大切に、思いやりの心を育てる学校

心身ともに健康で、主体的に活動する子を育てる学校

教職員が自ら学び続け、同僚性を高める学校

学力

人権

生活

組織力

確かな学力の向上をめざし、基礎学力の定着を図り、主体的・意欲的に学びを広げ、深め合う授業づくりに取り組む

人権尊重の意識を高め、自他を大切にしようの心を育み、心豊かなつながりづくりに取り組む

基本的な生活習慣の定着を図るとともに、健やかな体とたくましく生きる心の育成に取り組む

教職員同士の対話を重視し、協働意識の高い職場を目指す

行動計画

- 年2回の研究授業
「対話を通して、学びを深め合う子どもの育成」をテーマとする研究授業
- 学力向上の取り組み
全国学力学習状況調査及びみえスタディ・チェックの分析と活用、過去問・ワークシートの活用
- 補充学習
- 家庭学習の手引き作成
- 未来応援人等の外部講師の活用を図り、キャリア教育の推進
- ICTの活用
- 読書活動の充実

行動計画

- 教育的不利な環境のもとにある子どもを中心とした仲間づくり
- ・ レポート研修会(3回)
- ・ 人権教育公開授業
- いじめのない楽しい学校づくり
- ・ 「学校いじめ防止基本方針」の共通理解
- ・ いじめアンケート(年3回)
- 外国につながるのある児童への支援
- 特別に支援が必要な児童への支援

行動計画

- 安心できる居場所づくり
- 「学校のきまり」の共通理解と指導の徹底
- 基本的生活習慣の定着
- 主体的な児童会活動
- 縦割り班活動
- 健康な体づくり
体カテスト、水泳教室、運動会、業間かけ足運動、マラソン大会
- 保健指導
- 食育の指導
- 家庭・学校・地域連携のあいさつ運動
- 地域と連携した防災活動
- 教育相談の充実

行動計画

- 機能的な運営組織の確立
- ・ 校務分掌で主な仕事を一人一役担当
- 全職員による校内研修の充実
- ・ 一人一回以上公開授業の実施
- 勤務時間縮減に向けた取組の推進
- 何でも話せる職場づくり
- 学校評価や学校関係者評価の活用

達成目標

- 全国学調(全国平均以上)
- 児童「学校の授業が分かる」60%以上
- 児童「毎日家庭学習」70%以上
- 外部講師招聘10回以上(各学年実施)
- 読書目標一人年間42冊

達成目標

- 児童「学校が楽しい」70%以上
- いじめ調査後の迅速な対応
- 保護者「子どもが友だちと良い関係を保っている」50%以上
- 「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」作成100%

達成目標

- 児童「あいさつ」100%
- 保護者「学校は相談しやすいか」否定回答0
- 家庭・地域と連携した挨拶運動の継続実施
- 児童「クロームブックの正しい使い方」100%
- 長欠児童 昨年度比5人減

達成目標

- 保護者「学校は、わかりやすい授業に努めている」50%以上
- 一人一回以上公開授業を実施
- 働き方改革の推進
- 定時退校日を毎月2回以上実施
- 60分以内に終了する会議の割合70%以上

★地域の人と進んでかかわり、夢に向かって意欲的に活動する子を育てる
家庭・地域との連携を深め、「担い手づくり」「応援団づくり」「きずなづくり」に取り組む